

認定第 6 号

令和 7 年度芽室町下水道事業会計決算認定の件

地方公営企業法第 30 条第 4 項の規定により、令和 7 年度芽室町下水道事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和 8 年 9 月 2 日提出

芽室町長 手 島 旭

認定第 7 号

令和 7 年度芽室町上水道事業会計決算認定の件

地方公営企業法第 30 条第 4 項の規定により、令和 7 年度芽室町上水道事業会計
歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和 8 年 9 月 2 日提出

芽室町長 手 島 旭

認定第 8 号

令和 7 年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件

地方公営企業法第 30 条第 4 項の規定により、令和 7 年度芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和 8 年 9 月 2 日提出

芽室町長 手 島 旭

令和 7 年度芽室町各事業会計歳入歳出決算審査意見書

地方公営企業法（昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号）第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、令和 8 年 5 月 2 9 日審査に付された令和 7 年度芽室町各事業会計決算について審査した結果、次のとおりその意見を付します。

令和 8 年 8 月 2 1 日

芽室町監査委員

岩 波 栄



芽室町監査委員

常 通 直



芽室町長 手 島 旭 様

1 審査の対象

- (1) 令和7年度 芽室町下水道事業会計歳入歳出決算
- (2) 令和7年度 芽室町上水道事業会計歳入歳出決算
- (3) 令和7年度 芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算

2 審査の期間

令和8年6月25日から26日まで

3 審査の方法

令和7年度の芽室町下水道事業会計、芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査に当たっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分（欠損金処理）計算書、貸借対照表のほか決算附属書類としての事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、決算明細書、固定資産明細書、企業債明細書と証書類、試算表、総勘定元帳等を照合点検し、計算の正確性、予算執行上の適否について審査し、かつ決算諸表が関係法令に準拠し作成されているか、経営内容及び財産管理の実態が適正確実に表示・保管され、請負契約・委託契約等が適正に取り交わされ契約のとおり実施されているか、さらに一般会計からの繰り入れが適正に処理されているか等について審査を実施いたしました。

4 決算の概要及び審査意見

令和7年度の芽室町下水道事業会計、芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査の結果、決算報告書及び各財務諸表は地方公営企業法その他の関係法令に準拠し、計数は関係諸帳簿、証拠書類等に正確に記帳され、3事業の執行状況は適正なものと認めました。

なお、決算の概要は次のとおりです。

芽室町下水道事業会計

令和7年度における芽室町下水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 営業収益

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
使用料	442,223,927	424,670,047	17,553,880	104.1%
他会計負担金	96,573,000	36,947,000	59,626,000	261.4%
その他営業収益	136,000	222,000	△ 86,000	61.3%
計	538,932,927	461,839,047	77,093,880	116.7%

・ 営業外収益

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
国庫補助金	16,346,000	6,600,000	9,746,000	247.7%
他会計補助金	56,044,000	53,253,000	2,791,000	105.2%
他会計負担金	111,485,000	75,660,000	35,825,000	147.3%
長期前受金戻入	147,930,559	148,307,643	△ 377,084	99.7%
雑収益	1,632,225	32,409	1,599,816	5036.3%
計	333,437,784	283,853,052	49,584,732	117.5%

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(916,726,028)	(788,113,929)	(128,612,099)	(116.3%)
	872,370,711	745,692,099	126,678,612	117.0%

※（ ）内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比77,093,880円(16.7%)増の538,932,927円で、使用料増額の主な要因としては、大口使用者の使用量の増加であります。

営業外収益は、49,584,732円(17.5%)増の333,437,784円、増額の主な要因としては、国庫補助金及び一般会計からの繰入れである他会計負担金の増額によるものであります。

収益的収入合計では、前年度比126,678,612円増の872,370,711円であります。

(2) 収益的支出 (消費税を除く)

・ 営業費用

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
管渠費	79,679,732	68,092,450	11,587,282	117.0%
ポンプ場費	30,641,301	32,728,951	△ 2,087,650	93.6%
集落排水施設費	4,895,480	5,274,966	△ 379,486	92.8%
個別排水処理施設費	76,295,300	71,824,500	4,470,800	106.2%
流域下水道事業負担金	128,204,916	131,520,276	△ 3,315,360	97.5%
業務費	10,891,370	11,579,521	△ 688,151	94.1%
総係費	51,090,045	41,709,664	9,380,381	122.5%
減価償却費	421,116,626	423,065,625	△ 1,948,999	99.5%
資産減耗費	819,915	504,106	315,809	162.6%
計	803,634,685	786,300,059	17,334,626	102.2%

・ 営業外費用

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	19,424,013	21,011,995	△ 1,587,982	92.4%
雑支出	9,647,063	6,325,209	3,321,854	152.5%
計	29,071,076	27,337,204	1,733,872	106.3%

※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(860,326,551)	(849,177,175)	(11,149,376)	(101.3%)
	832,705,761	813,637,263	19,068,498	102.3%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比17,334,626円(2.2%)増の803,634,685円で、増額の主な要因は、管渠費、個別排水処理施設費、総係費、資産減耗費が増加したためであります。

営業外費用は、前年度比1,733,872円(6.3%)増の29,071,076円で、収益的支出合計では、前年度比19,068,498円(2.3%)増の832,705,761円であります。

この結果、収益的収入合計872,370,711円、収益的支出合計832,705,761円で、当年度の純利益39,664,950円に前年度繰越欠損金239,823,888円を加えた当年度未処理欠損金は200,158,938円であります。

2 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
企業債	144,500,000	58,600,000	85,900,000	246.6%
出資金	18,685,000	114,859,000	△ 96,174,000	16.3%
国庫補助金	42,713,000	5,569,850	37,143,150	766.9%
受益者負担金	1,322,250	99,200	1,223,050	1332.9%
受益者分担金	1,045,000	1,853,400	△ 808,400	56.4%
その他資本的収入	51,000	74,000	△ 23,000	68.9%
計	(208,316,250) 208,316,250	(181,055,450) 181,055,450	(27,260,800) 27,260,800	(115.1%) 115.1%

※（ ）内は、消費税込みの数値です。

(2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
建設改良費	208,373,794	75,567,665	132,806,129	275.7%
企業債償還金	190,013,771	192,164,589	△ 2,150,818	98.9%
計	(419,224,932) 398,387,565	(275,289,012) 267,732,254	(143,935,920) 130,655,311	(152.3%) 148.8%

※（ ）内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額210,908,682円（消費税込み）は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額16,734,527円、過年度分損益勘定留保資金194,174,155円で補てんし、資金収支の均衡が図られています。

企業債については、公共下水道事業の令和 6 年度末未償還残高は1,208,469,321円で、令和 7 年度に121,900,000円を借入れ、143,441,066円を償還したことから、令和 7 年度末未償還残高は1,186,928,255円。農業集落排水事業の令和 6 年度末未償還残高は92,253,431円で、令和 7 年度に3,751,705円を償還したことから、令和 7 年度末未償還残高は88,501,726円。個別排水処理施設事業の令和 6 年度末未償還残高は513,781,730円で、令和 7 年度に25,000,000円の借入れを行い、42,821,000円を償還したことから、令和 7 年度末未償還残高は495,960,730円となっています。

(3) 建設改良工事の概要（消費税込み）

- ① 公共下水道整備事業 113,850,000円
 第2汚水中継ポンプ場負荷設備等更新工事 112,277,000円
 公共枿新設工事（その1～3） 1,573,000円
- ② 個別排水処理施設整備費 29,854,000円
 整備件数 8件（5人槽 7基、7人槽 1基）

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的収入（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
下水道事業収益	916,733,000	916,726,028	△ 6,972	99.9%
営業収益	583,129,000	583,125,321	△ 3,679	99.9%
営業外収益	333,604,000	333,600,707	△ 3,293	99.9%

・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
下水道事業費用	875,049,000	860,326,551	14,722,449	98.3%
営業費用	848,655,000	838,054,649	10,600,351	98.8%
営業外費用	26,394,000	22,271,902	4,122,098	84.4%
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0%
計	877,049,000	860,326,551	16,722,449	98.1%

下水道事業収益は予算執行率が99.9%、下水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は98.3%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

(2) 資本的収支

・資本的収入（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	翌年度繰越額	増減額	執行率
資本的収入	214,115,000	208,316,250	5,800,000	1,250	100.0%
企業債	150,300,000	144,500,000	5,800,000	0	100.0%
出資金	18,685,000	18,685,000	0	0	100.0%
国庫補助金	42,713,000	42,713,000	0	0	100.0%
受益者負担金	1,321,000	1,322,250	0	1,250	100.1%
受益者分担金	1,045,000	1,045,000	0	0	100.0%
その他資本的収入	51,000	51,000	0	0	100.0%

・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	425,143,000	419,224,932	5,870,000	48,068	99.9%
建設改良費	235,128,000	229,211,161	5,870,000	46,839	99.9%
企業債償還金	190,015,000	190,013,771	0	1,229	99.9%

資本的収入の予算執行率は100.0%、資本的支出の予算執行率は99.9%であります。

4 未収状況及び不納欠損額

(1) 公共下水道使用料

（単位：円）

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
現 年 度	78,095,792	40,789,235	37,306,557	191.5%
過 年 度	1,820,266	1,872,292	△ 52,026	97.2%
計	79,916,058	42,661,527	37,254,531	187.3%
不納欠損額	140,289	412,079	△ 271,790	34.0%

(2) 集落排水施設使用料

（単位：円）

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
現 年 度	295,011	162,314	132,697	181.8%
過 年 度	0	0	0	—
計	295,011	162,314	132,697	181.8%
不納欠損額	0	0	0	—

(3) 個別排水処理施設使用料

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
現 年 度	7,744,545	4,164,489	3,580,056	186.0%
過 年 度	426,907	291,209	135,698	146.6%
計	8,171,452	4,455,698	3,715,754	183.4%
不納欠損額	0	0	0	—

公共下水道使用料の現年度分収納率は82.2%（前年度90.3%）、過年度分収納率は95.4%（前年度94.5%）で、未収額は79,916,058円となっており、前年度と比較し37,254,531円増加しています。

また、不納欠損額は、前年度の88件412,079円に対し、令和7年度は109件140,289円で271,790円の減であります。

集落排水施設使用料の現年度分収納率は83.5%（前年度90.7%）、過年度分収納率は100.0%（前年度100.0%）で、未収額は295,011円となっており、前年度と比較し132,697円増加しています。

個別排水処理施設使用料の現年度分収納率は82.9%（前年度90.8%）、過年度分収納率は90.4%（前年度93.3%）で、未収額は8,171,452円となっており、前年度と比較し3,715,754円増加しています。

以上、芽室町下水道事業は、公共下水道事業・農業集落排水事業・個別排水処理事業の3事業があります。令和7年度の主な整備事業として、公共下水道事業ではストックマネジメント改築実施設計委託や第2汚水中継ポンプ場負荷設備等更新工事、個別排水処理事業では個別排水処理施設整備工事を行い、健康で快適な町民の生活を支える重要なライフラインの整備を図っています。

併せて、各下水道施設を適切に維持していくために財政状況を整理し、地方公営企業として安定した経営を目指すとともに、下水道事業に対する町民の理解により、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努め、将来にわたり快適で安全安心な生活環境の提供が可能となるよう、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を期待するものであります。

芽室町上水道事業会計

令和7年度における芽室町上水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 営業収益

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
給水収益	406,353,324	441,866,455	△ 35,513,131	92.0%
他会計補助金	33,756,785	0	33,756,785	皆増
その他営業収益	7,345,988	10,038,471	△ 2,692,483	73.2%
計	447,456,097	451,904,926	△ 4,448,829	99.0%

・ 営業外収益

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
他会計補助金	55,277,000	41,905,300	13,371,700	131.9%
長期前受金戻入	137,696,869	140,047,614	△ 2,350,745	98.3%
雑収益	10,733,096	8,846,482	1,886,614	121.3%
計	203,706,965	190,799,396	12,907,569	106.8%

・ 特別損失

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	0	92,294	△ 92,294	皆減
その他特別損失	0	20,005,199	△ 20,005,199	皆減
計	0	20,097,493	△ 20,097,493	皆減

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(695,826,409)	(708,632,061)	(△ 12,805,652)	(98.2%)
	651,163,062	662,801,815	△ 11,638,753	98.2%

※（ ）内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比4,448,829円(1.0%)減の447,456,097円で、そのうち給水収益は35,513,131円(8.0%)の減であり、人口減少に伴う水道使用量の減少が要因であります。

営業外収益は、12,907,569円(6.8%)増の203,706,965円で、増額の主な要因としては、他会計補助金の増加によるものであります。

収益的収入合計では、前年度比11,638,753円(1.8%)減の651,163,062円であります。

(2) 収益的支出（消費税を除く）

・ 営業費用

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
原水及び浄水費	159,313,301	151,979,894	7,333,407	104.8%
配水及び給水費	32,221,199	41,770,570	△ 9,549,371	77.1%
業務費	20,830,250	18,958,709	1,871,541	109.9%
総係費	38,757,789	37,240,152	1,517,637	104.1%
減価償却費	347,728,609	348,998,838	△ 1,270,229	99.6%
資産減耗費	4,070,170	4,842,516	△ 772,346	84.1%
計	602,921,318	603,790,679	△ 869,361	99.9%

・ 営業外費用

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	26,446,107	25,728,538	717,569	102.8%
雑支出	134,804	0	134,804	皆増
計	26,580,911	25,728,538	852,373	103.3%

・ 特別損失

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	9,196,452	1,160,911	8,035,541	792.2%
その他特別利益	0	1,632,514	△ 1,632,514	皆減
計	9,196,452	2,793,425	6,403,027	329.2%

※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(660,178,266)	(654,592,683)	(5,585,583)	(100.9%)
	638,698,681	632,312,642	6,386,039	101.0%

※（ ）内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比869,361円（0.1%）減の602,921,318円であります。

営業外費用は、前年度比852,373円（3.3%）増の25,580,911円で、収益的支出合計では、前年度比6,386,039円（1.0%）増であります。この結果、収益的収入合計651,163,062円、収益的支出合計638,698,681円で、当年度の純利益は12,464,381円であります。

当年度純利益に前年度繰越利益剰余金318,325,627円を加えた当年度未処分利益剰余金は330,790,008円であります。

2 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
企業債	197,200,000	341,300,000	△ 144,100,000	57.8%
他会計出資金	17,038,000	19,199,000	△ 2,161,000	88.7%
固定資産売却代金	2,005,395	1,704,365	301,030	117.7%
他会計負担金	7,018,000	7,018,000	0	100.0%
計	(223,461,934) 223,261,395	(369,391,801) 369,221,365	(△ 145,929,867) △ 145,959,970	(60.5%) 60.5%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

(2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
上水道整備費	164,006,938	142,826,369	21,180,569	114.8%
簡易水道整備費	69,836,155	94,380,120	△ 24,543,965	74.0%
企業債償還金	128,427,296	156,657,743	△ 28,230,447	82.0%
計	(385,654,690) 362,270,389	(417,584,873) 393,864,232	(△ 31,930,183) △ 31,593,843	(92.4%) 92.0%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額162,192,756円（消費税込み）は、過年度分損益勘定留保資金41,496,224円、当年度分損益勘定留保資金97,512,770円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額23,183,762円で補てんし、資金収支の均衡が図られています。

企業債の令和6年度末未償還残高は2,903,297,480円で、令和7年度に201,100,000円を借入れ、128,427,296円を償還したことから、令和7年度末未償還残高は2,975,970,184円となっています。

(3) 建設改良工事の概要（消費税込み）

- ① 機器更新工事 112,123,000円
芽室浄水場制御盤更新工事・芽室浄水場配水流量計更新工事
美生浄水場送水ポンプ更新工事・河北簡易水道伝送装置通信回線変更工事
- ② 配水管整備工事 85,360,000円
六丁目通布設換工事 工事延長合計 207.33m
八丁目通布設換工事 工事延長合計 152.34m
西上美生線配水管布設換工事 工事延長合計 247.27m
上美生本通配水管布設換工事 工事延長合計 199.29m
- ③ 検満量水器取替工事 合計1,066台 31,394,000円
- ④ 量水器の購入 20,373,540円
新設用量水器 52台、検満取替用量水器 1,066台 合計 1,118台

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的收入（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
水道事業収益	692,191,000	695,826,409	3,635,409	100.5%
営業収益	488,843,000	488,786,706	△ 56,294	99.9%
営業外収益	203,348,000	207,039,703	3,691,703	101.8%

・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	676,535,000	660,178,266	16,356,734	97.6%
営業費用	636,476,000	624,400,903	12,075,097	98.1%
営業外費用	32,591,000	26,580,911	6,010,089	81.6%
特別損失	7,468,000	9,196,452	△ 1,728,452	123.1%
予備費	6,254,000	0	6,254,000	0.0%
計	682,789,000	660,178,266	22,610,734	96.7%

水道事業収益は予算執行率が100.5%、水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は97.6%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

(2) 資本的収支

・資本的收入（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的收入	223,114,000	223,461,934	347,934	100.2%
企業債	197,200,000	197,200,000	0	100.0%
他会計出資金	17,038,000	17,038,000	0	100.0%
固定資産売却代金	1,858,000	2,205,934	347,934	118.7%
他会計負担金	7,018,000	7,018,000	0	100.0%

・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	390,226,000	385,654,690	4,571,310	98.8%
建設改良費	261,797,000	257,227,394	4,569,606	98.3%
企業債償還金	128,429,000	128,427,296	1,704	99.9%

資本的收入の予算執行率は100.2%、資本的支出の予算執行率は98.8%であります。

4 水道使用料の未収状況及び不納欠損額

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
現 年 度	6,799,330	7,012,344	△ 213,014	97.0%
過 年 度	3,311,485	3,736,145	△ 424,660	88.6%
計	10,110,815	10,748,489	△ 637,674	94.1%
不納欠損額	904,356	1,733,754	△ 829,398	52.2%

水道使用料の現年度分収納率は98.5%（前年度98.6%）、過年度分収納率は60.8%（前年度58.1%）で、未収額は10,110,815円となっており、前年度と比較し637,674円減少しています。

また、不納欠損額は、前年度の100件1,733,754円に対し、令和7年度は257件904,356円で829,398円の減であります。

以上、令和7年度芽室町上水道事業会計の決算状況を申し上げましたが、上水道事業は、地方公営企業の目的である公共の福祉増進と経済性に主眼を置いて事業経営を行っており、令和7年度は配水管布設換工事を計画的に進め、健康で快適な町民の生活を支える重要なライフラインとしての整備維持を図っています。

さらに、芽室浄水場制御盤の更新など施設の安全管理に取り組んでいるところであります。

また、施設の維持管理においては、漏水の早期発見・早期修繕による有収率の向上により、経営の健全化・効率化を図り、経費の縮減に努められることを確認しました。

今後においても、経営の効率化に向けた様々な取り組みを着実に実行するとともに、水道事業に対する町民の理解により、水道使用料は受益者負担と公平性確保の点からも、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努め、地方公営企業として経済性を発揮し、公共の福祉増進のため、安全・安心かつ満足のできる水道水の安定供給と水道サービスの向上を期待するものであります。

芽室町公立芽室病院事業会計

令和7年度における芽室町公立芽室病院事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入 (消費税を除く)

・ 医業収益

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
入院収益	905,387,622	882,734,323	22,653,299	102.6%
外来収益	531,186,474	564,663,860	△ 33,477,386	94.1%
その他医業収益	264,530,373	221,339,898	43,190,475	119.5%
計	1,701,104,469	1,668,738,081	32,366,388	101.9%

・ 医業外収益

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
他会計負担金	130,686,000	99,087,000	31,599,000	131.9%
他会計補助金	247,099,000	237,707,000	9,392,000	104.0%
患者外給食収益	2,301,556	1,745,554	556,002	131.9%
長期前受金戻入	119,867,270	107,381,108	12,486,162	111.6%
その他医業外収益	60,122,305	20,958,186	39,164,119	286.9%
計	560,076,131	466,878,848	93,197,283	120.0%

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(2,272,073,493)	(2,145,262,696)	(126,810,797)	105.9%
	2,261,180,600	2,135,616,929	125,563,671	105.9%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

収益的収入の医業収益のうち入院収益は、前年度比22,653,299円(2.6%)増の905,387,622円、外来収益は、前年度比33,477,386円(5.9%)減の531,186,474円で入院は収益が前年度を上回りました。

また、医業外収益は前年度比93,197,283円(20.0%)増の560,076,131円となり、収益的収入合計では、前年度比125,563,671円(5.9%)増の2,261,180,600円となりました。

(2) 収益的支出 (消費税を除く)

・ 医業費用

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
給与費	1,625,018,931	1,490,710,229	134,308,702	109.0%
材料費	186,413,648	199,923,537	△ 13,509,889	93.2%
経 費	312,784,000	318,067,947	△ 5,283,947	98.3%
減価償却費	171,762,990	165,808,295	5,954,695	103.6%
資産減耗費	3,124,285	1,349,675	1,774,610	231.5%
研究研修費	4,403,462	4,569,931	△ 166,469	96.4%
計	2,303,507,316	2,180,429,614	123,077,702	105.6%

・ 医業外費用

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	4,949,567	4,309,418	640,149	114.9%
患者外給食材料費	2,024,745	1,891,459	133,286	107.0%
雑損失	42,512,586	46,138,560	△ 3,625,974	92.1%
運営委員会費	67,713	29,798	37,915	227.2%
計	49,554,611	52,369,235	△ 2,814,624	94.6%

※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(2,346,722,748)	(2,223,401,198)	(123,321,550)	105.5%
	2,353,061,927	2,232,798,849	120,263,078	105.4%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

医業費用では前年度比123,077,702円(5.6%)増の2,303,507,316円、医業外費用は前年度比2,814,624円(5.4%)減の49,554,611円で、収益的支出合計では、120,263,078円(5.4%)増の2,353,061,927円となり、当年度の純損失は91,881,327円であります。

この結果、前年度繰越欠損金15,344,750円に、当年度純損失91,881,327円を加えた当年度未処理欠損金は107,226,077円となりました。

2 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
企業債	113,200,000	129,800,000	△ 16,600,000	87.2%
出資金	45,824,000	55,262,000	△ 9,438,000	82.9%
繰入金	0	4,125,000	△ 4,125,000	皆減
補助金	22,175,769	2,347,000	19,828,769	944.9%
計	(181,199,769)	(191,534,000)	(△ 10,334,231)	94.6%
	181,199,769	191,534,000	△ 10,334,231	94.6%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

(2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減	前年度比
有形固定資産購入費	133,047,002	64,769,218	68,277,784	205.4%
施設費	12,794,204	123,634,943	△ 110,840,739	10.3%
企業債償還金	79,977,587	76,854,437	3,123,150	104.1%
計	(226,680,382)	(266,272,061)	(△ 39,591,679)	85.1%
	225,818,793	265,258,598	△ 39,439,805	85.1%

※ () 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入は、企業債（スマホ・電動ベッド等医療機器、ナースコール・電話交換機整備、2階病棟多目的トイレ改修工事）として113,200,000円、一般会計からの出資金45,824,000円と国庫補助金として新しい地方経済・生活環境創生交付金22,175,769円を受入れました。

また、資本的支出においては、スマホ・電動ベッド等医療機器、ナースコール・電話交換機整備等の器械及び備品の購入や透析室系統加圧給水ポンプ更新工事、2階トイレ改修工事を行っています。

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的収入（消費税込み）（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
病院事業収益	2,305,403,000	2,272,073,493	△ 33,329,507	98.6%
医業収益	1,771,930,000	1,710,620,519	△ 61,309,481	96.5%
医業外収益	533,473,000	561,452,974	27,979,974	105.2%

・収益的支出（消費税込み）（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	2,460,363,000	2,346,722,748	113,640,252	95.4%
医業費用	2,443,593,000	2,332,267,344	111,325,656	95.4%
医業外費用	14,770,000	14,455,404	314,596	97.9%
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0%

病院事業収益の予算額に対する執行率は98.6%でした。また、病院事業費用は予算執行率が95.4%で、不用額の主なものは医業費用の給与費及び経費であります。

(2) 資本的収支

・資本的収入（消費税込み）（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	183,587,000	181,199,769	△ 2,387,231	98.7%
企業債	113,200,000	113,200,000	0	100.0%
出資金	45,824,000	45,824,000	0	100.0%
補助金	24,563,000	22,175,769	△ 2,387,231	90.3%

・資本的支出（消費税込み）（単位：円）

項 目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	227,189,000	226,680,382	508,618	99.8%
建設改良費	147,211,000	146,702,795	508,205	99.7%
企業債償還金	79,978,000	79,977,587	413	99.9%

資本的収入の予算執行率は98.7%、資本的支出の予算執行率は99.8%で、いずれも現計予算に基づく適切な執行がされています。

4 企業債の状況

(1) 企業債（単位：円）

前年度末 繰越残高	令和7年度中		次年度以 降繰越額
	借入額	償還額	
483,600,253	113,200,000	79,977,587	516,822,666

スマホ・電動ベッド等医療機器、ナースコール・電話交換機整備等の器械及び備品購入や2階病棟多目的トイレ改修工事のため、借入入れが2件ありました。

5 業務量

(1) 入院収益

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
病床利用率	85.8%	80.2%	75.5%	76.9%
1日平均入院患者	90.7人	85.8人	80.7人	82.3人
1人1日当たり収入	27,339円	28,176円	27,196円	27,065円

(2) 外来収益

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
1日平均外来患者	246.9人	252.0人	242.1人	258.8人
1人1日当たり収入	9,303円	9,312円	9,264円	9,613円

業務量では、入院における病床利用率は85.8%と前年度比5.6ポイント増となっており、入院患者数は1日当たり90.7人で前年度比4.9人の増、1人1日当たりの収入は27,339円で前年度比837円の減であります。

外来患者は1日当たり246.9人で前年度比5.1人の減、1人1日当たり外来収入は9,303円で前年度比9円の減であります。

業務量の基準となる患者数については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響を受ける前の令和元年度の水準まで回復し、令和5年度は入院患者・外来患者ともに減少しましたが、令和6年度は入院患者・外来患者ともに前年度比で増加、令和7年度は外来患者は前年度を下回りましたが、入院患者は前年度を上回っています。

6 職員数

各年度末職員数

(単位：人)

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
医 師	10	10	10	11
看護師	69	69	69	66
准看護師	1	1	1	1
医療技術者	30	28	28	25
事務職員	11	11	11	11
その他職員	2	2	2	2
計	123	121	121	116

今年度は、常勤医師10人体制で診療を行いました。

職員経営意識の醸成と推進、住民向け企画事業の推進等の成果により、入院収益及び介護保険報酬が増加し、病院事業収益が前年度を上回りました。

以上、令和7年度公立芽室病院事業会計の決算状況を申し上げましたが、本業の経営成績を示す医業収支は、医業収益1,701,104,469円に対し、医業費用は2,303,507,316円で、602,402,847円の損失となり、これに、医業外収益560,076,131円を加え医業外費用49,554,611円を除いた収益的収支では91,881,327円の純損失となりました。

要因として、入院・その他医業収益が前年度を上回り、部門別原価管理システムによる職員一人ひとりのコスト意識の醸成により、材料費及び経費の節減を行い、費用抑制の取り組みを実践しましたが、ベースアップにより人件費が増加したことや物価上昇の影響により、赤字決算となりました。

自治体病院を取り巻く医療環境が厳しさを増す中、職員経営意識の醸成と推進、住民向けの企画事業の推進を継続して実施したことは高く評価されているところであります。

町内で唯一の入院機能を持つ医療機関として、回復期病院としての機能強化に加え、慢性期病院としての機能を充実させ、良質な医療サービスを提供するとともに、経営安定化を目指し、地域住民から信頼される病院づくりに努めています。

公立芽室病院が「かかりつけ病院」としての機能充実に加え、地域包括ケアシステムにおける中核施設として住民の健康と生命を守るため、安定的かつ継続的な安心と地域で必要とされる医療の提供を期待するものであります。

加えて、公的な役割として民間医療機関では担い難く、採算性の確保が難しい分野の医療を担う使命を持っており、良質な医療を継続して提供していくためにも、経営の効率化による医療提供体制の確保に向けた様々な取り組みの継続を望むものであります。